

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	吉田町立こども発達支援事業所		
○保護者評価実施期間	令和7年2月19日 ～ 令和7年3月7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57名(内 兄弟3組)	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	令和7年2月19日 ～ 令和7年3月7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・国の基準を上回る職員数を配置している。 (子ども3人(上限)に対して職員を1人配置している)	・子どもの様子に合わせて過ごしている。	・全職員で子どもの様子を把握及び共通理解し、チームとしてきめ細かい療育に努める。
2	・公立施設である。	・併設している保育園との交流がしやすい。 ・こども未来課、健康づくり課、福祉課とも連携が取りやすい。	・子どもたちとの交流だけでなく、年2回(6, 7月・12, 1月)公立施設の保育園の職員との交流を設ける。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族に対しての支援が薄い。	・公立保育園との職員が入れ替わるため、療育の知識が浅い。	・心理士を招き、支援者と保護者が共に学ぶ機会を設ける。
2	・事業所の存在や役割の周知不足。	・保育園と併設しているため、施設が保育園として認識されやすい。	・町内在住の子どもたちが通う保育園、幼稚園、こども園へ足を向け、周知に努める。
3			